

会 議 録

会議名	令和8年度 第2回(8月)松山市障がい者総合支援協議会 暮らし部会
日 時	令和 8 年 8 月 3 日 (月) 14 : 00 ~ 15 : 30
場 所	松山市役所本館 5階 本部会議室
出席者	委員:5名、事務局:5名 松山市南部地域相談支援センター、松山市社会福祉協議会、松山市民生児童委員協議会、中央消防署、危機管理課、保健予防課、障がい福祉課
内 容	1. 開会 2. 個別避難計画の作成を推進する取り組みについて 対象者へ送付した計画作成の意向確認書について未回答の方がいることや避難支援の担い手となる「近隣協力員」を確保できないケースがあることを説明。今後は、対象者だけでなく、対象者を支援している事業所等へのメール周知や説明会を実施していく予定。 部会員からの意見 近隣協力員として消防団も含まれること、キントーンを活用した安否確認システムの構築等の意見が交わされた。また、モデル地区を指定して計画を作成することや避難訓練の実施について意見が交わされた。 3. 暮らし部会研修会(自然災害～障がいのある方を守るために備える～)について 8月20日開催の研修会について説明 研修は、大規模風水害の接近から通過までの 24 時間を疑似体験できるシミュレーションゲーム「風水害24」と「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取り組みについて」を実施。これにより、参加者が災害リスクを具体的に理解し、防災意識と避難計画作成への意欲を高めることを目的としている。 4. ひきこもり問題について ・ひきこもり相談窓口について 今年 4 月に新たに開設された市の「ひきこもり専用相談窓口」と、7 月から開始した当事者向け居場所「りすたートベース」について説明。訪問(アウトリーチ)が可能である点が大きな特色。 部会員からの意見 こうした「障がい」という名称のつかない窓口の存在が、当事者や家族の心理的ハードルを下げる上で極めて重要である。 ・事例についての協議 8050 問題に直面する 2 つのひきこもり事例が共有された。 事例を通じて、家族の疲弊や災害時の危機介入など、ひきこもり支援が抱える複合的な課題について共有された。 5. ごみ問題経過報告 引き続き、経過を見守っていくことにする。 6. その他 ・下半期に予定している第 2 回暮らし部会の研修内容(案)について ・目の不自由な方の災害の備えに、現在地のハザード情報や避難所を音声で案内する「耳で聴くハザードマップ」(「Uni-VoiceBlind」(ユニボイスブラインド)アプリ)の情報が共有された。 7. 閉会